

指定管理者管理運営状況検証調書①

令和元年7月25日

施設名	かがわ総合リハビリテーションセンター	所在地	高松市田村町1114番地
施設所管課	健康福祉部障害福祉課	施設所管課連絡先	総務・県立施設G 087-832-3291
指定管理者名	社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション事業団	指定期間	平成25年4月1日～ 令和2年3月31日

1 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	1. 施設の運営に関する業務 2. 施設の維持管理に関する業務 3. 施設の利用の許可に関する業務 4. 利用料金の収受に関する業務 5. 手数料の徴収に関する業務	県からの委託料	平成25年度 385,563千円 平成26年度 388,561千円 平成27年度 389,098千円 平成28年度 388,961千円 平成29年度 387,139千円 平成30年度 387,536千円 平成31年度 385,000千円
---------	--	---------	--

2 施設の利用状況等

(単位：人日)

利用者数 (稼働率)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	30年度	10,491	11,105	10,968	11,047	11,330	10,261	11,626	11,461	11,142	10,679	10,430	11,411	131,951
	29年度	10,445	10,584	11,100	10,694	11,317	10,801	11,144	10,975	10,937	10,491	10,398	11,684	130,570
	28年度	10,158	10,340	10,685	10,717	11,032	10,136	10,464	10,524	10,337	10,378	10,334	11,573	126,678
	27年度	10,346	10,103	10,905	11,114	10,834	10,341	11,349	10,610	10,772	10,427	10,382	11,875	129,058
	26年度	10,466	10,512	10,913	11,267	10,646	10,265	10,698	9,778	10,167	10,058	9,942	11,084	125,796
	25年度	10,805	11,000	10,343	10,949	10,293	9,579	10,580	10,268	10,385	10,385	10,082	10,816	125,485

(単位：千円)

利用料金収入 (使用料)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	30年度	182,611	190,708	180,801	182,767	197,733	191,670	212,387	213,244	213,851	187,258	211,634	211,202	2,375,866
	29年度	177,045	178,370	183,213	178,379	183,326	179,145	178,549	175,588	177,687	180,048	159,102	193,227	2,143,679
	28年度	163,603	174,765	174,158	175,876	173,414	162,053	172,486	168,815	175,047	174,562	167,481	185,792	2,068,052
	27年度	161,588	167,352	175,297	186,355	175,131	169,033	176,721	165,064	172,800	163,104	162,295	168,364	2,043,104
	26年度	174,412	164,218	152,402	174,326	170,025	156,942	158,966	155,889	164,578	153,303	156,632	185,382	1,967,075
	25年度	166,404	166,038	160,619	178,975	158,577	163,977	168,693	163,249	164,734	157,746	151,498	167,570	1,968,080

3 利用者からの意見への対応

利用者意見の把握方法	アンケート調査、ご意見箱、苦情受付箱
------------	--------------------

利用者からの積極的な評価	
入院患者・家族へのアンケートでは、全ての病棟で90%以上が満足と回答している。 外来患者満足度調査では、大変満足とやや満足で約92%となっている。	
福祉センター貸館アンケートではサービスについて、非常に満足と満足で79%、成人支援施設自立訓練利用者アンケートでは大変満足と満足で70%となっている。	

利用者からの苦情・要望	対応状況
駐車場を増やしてほしい	高松市の土地を借り上げて職員用駐車場を新たに設けたことにより、利用者駐車場の確保を行った。
外来受付に番号札を置いてほしい	番号札を設置し、受付開始前に患者が並んで待つことがなくなった
病院のテレビカード料金を安くしてほしい	取引業者を見直し、安価な料金設定とした

4 管理運営状況の評価

項目	細項目	指定管理者による自己評価	施設所管課の評価	人事・行革課の評価
適正な管理運営の確保の状況	利用許可	適切かつ迅速に行っている。	法令等に基づき、適切かつ迅速な利用許可を行っている。	A
	建物・設備の保守点検及び維持管理	協定書に基づく建物・設備の保守等について、適切に管理している。修繕等への対応も適切に実施している。	建物、設備等の保守点検は、専門業者への委託により適切に実施している。破損等により修繕が必要となった場合は、包括協定書に基づき適切に対応している。	
	安全性の確保	医療福祉安全管理委員会等により、事故防止に努めている。また、各種防災訓練を実施し、安全性の確保を図っている。	毎月1回、医療福祉安全管理委員会を開催し、各部署からのインシデント報告について情報共有し、今後の改善策等の検討を行い、事故防止に努めている。また各種防災訓練を適切に実施している。	
	物品・備品管理	県からの貸付備品は、適切に管理している。センター備品は、固定資産管理台帳、固定資産現在高報告書を作成し、適切に管理している。	県からの貸付備品については、毎年1回、リストと現物の照合を行い、適切に管理されていることを確認している。リハセンター保有備品は、固定資産管理台帳や固定資産現在高報告書が作成され、適切に管理されている。	
法令等の遵守等	法令等の遵守	社会福祉法をはじめ、関係法令を遵守している。再委託が必要な場合は、県の承認を得て行っている。	関係法令等を遵守するとともに、再委託については専門的な業務について行っており、事前に県の承認を受けている。	A
	職員配置	医療法等に定められた配置基準を満たし、サービスを提供できる人員配置を行っている。	法令等に定められた配置基準を満たしており、適切なサービスが提供できる人員配置を行っている。特に看護師については、病棟ごとに余裕のある配置をしており、緊急時にも対応できる体制となっている。	
	緊急時の体制	防災計画を作成し、火災、地震、洪水等の災害時において、緊急時体制を整備している。また、緊急連絡網により、連絡体制を整備している。	平成30年度版防災計画を平成30年7月に策定し、消防署に届出済みであり、洪水訓練：年1回、消防訓練：年2回、避難訓練：年2回実施している。緊急連絡網により、連絡体制を整備している。	
	県の指示事項への対応	迅速かつ適切に実施している。	県からの指示事項については、迅速かつ適切に対応している。	
	個人情報の保護	個人情報保護規程、特定個人情報保護規程等により、個人情報の適正な取扱いを行っている。	個人情報保護に係る規程を定め、適正に取り扱っている。個人情報に係る書類等は、金庫等において厳重に管理している。	
労働関係法令遵守の状況	労働関係法令を遵守し、必要に応じて規程の改正を行っている。労働組合と協定を締結し、割増賃金を適切に支払っている。衛生委員会を設置し、定期健康診断を実施している。	労働関係法令を遵守し、必要に応じて規程の改正を適正に行っている。36協定を締結し、割増賃金を適切に支払っている。メンタル不調による休職者の職場復帰支援に関する体制づくりを行い、休職者担当医と産業医の間で意見交換を行い、職場復帰を支援している。	A	
利用者サービスの維持向上の状況	利用者数の状況	病床管理委員会や部長会、イントラネットで利用者状況を共有している。成人支援施設では利用動向に基づいて自立訓練の利用定員を見直し、回復期病棟及び療養介護施設では、増床を行うなど、利用者増に努めている。	成人支援施設では、利用動向に合わせて自立訓練の利用定員（内部定員）を見直した。回復期病棟や療養介護病棟の整備により、増床を図るなど、利用者数は順調に増加している。	A
	利用促進	医療ソーシャルワーカーを増員して関係機関や患者家族との連携を密に行うなど、病床利用率の向上を図っている。成人支援施設では、関係機関に積極的に出向き、利用促進の対策を講じている。	平成30年度から医療ソーシャルワーカーを1名増員し、関係機関や患者家族との連携を密に行うことで、病床利用率の向上を図っており、高松市立みんなの病院からの紹介による整形外科患者が増えている。回復期病棟退院後、成人支援施設を利用することで、身体能力や生活能力、職業能力を向上させ、よりよい形での社会生活・職業生活を送れるよう支援を行っている。	
	各種事業・プログラムの内容	事業基本理念、基本方針を掲げ、職員が共通した目標を持ち、仕様書による事業を実施している。	基本理念、基本方針に基づき、職員が共通した目標を持ち事業を実施している。	

	利用者満足度調査	各施設ごとに毎年アンケートを実施し、全ての施設で7割以上の満足を得ている。	各病棟、外来、成人支援施設の利用者等を対象としたアンケート調査を行っており、いずれも高い満足度が得られている。結果については、各施設にフィードバックし、アンケートに寄せられた要望とともに、より良いサービスの提供のために活用している。		
	苦情等への対応	苦情受付箱等を5か所に設置し、利用者からの意見に迅速に対応している。また、その内容や対応を利用者に周知している。	施設内5か所に設置した苦情受付箱に寄せられた苦情や意見については、それぞれ適切に対応するとともに、寄せられた意見と対応という形でまとめて施設内に掲示している。		
	広報、PR、情報提供の実施	広報誌の発行やホームページでの周知のほか、夏まつりやコンサート等のイベントを実施している。ホームページはより見やすいものにリニューアルした。	広報誌は2カ月に1回の発行し、ホームページは平成30年度にリニューアルして見やすいものとしている。夏まつりや健康まつり、毎月の病院ロビーでのコンサートなど、地域住民に対しても開かれた施設としてPRを行っている。利用者を増やすためにもリハセンターを知ってもらうことが必要であることから、対外的な広報として、駅や電車内の広告にも力を入れている。		
収支の状況	経費節減の取組	省エネ対策装置を設置して、電力の管理・抑制を行っている。診療材料のSPDシステムを導入することで、在庫管理・発注業務の軽減を行っている。	空調について省エネ対策装置を設置し、利用者の体調管理に留意しながら電力の管理・抑制を行っている。診療材料調達について、SPDシステムを導入し、在庫管理・発注業務を軽減している。	A	A
	収支の状況の把握	理事長、施設長等への収支状況報告を毎月行っている。また、利用料金の収入状況を毎月所管課へ報告している。	毎月、試算表を作成し、理事長、施設長等への収支状況報告を行っている。利用料金の収入状況について、毎月適時に障害福祉課に報告している。		
	会計処理の状況	会計監査人を設置し、定期的な監査を行っている。また、内部管理体制の整備として、内部管理体制基本方針を決定し、諸規程の策定を行った。会計は複数人体制で行っている。	会計監査人を設置するとともに、会計事務を担当する職員を複数配置し、適切な会計事務処理が行っている。現金、預金通帳、印鑑等は、管理者を定め適切に管理している。		

《評価指標》 S：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている。  
A：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を実施している。  
B：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある。  
C：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている。

総合評価	施設所管課の評価		人事・行革課の評価
	施設の管理運営については、適切に実施されており、関係法令を遵守した対応がなされている。利用サービス水準の維持・向上については、利用者数も順調に増加し、新たに整備した施設も活用しながら、県内唯一の障害者に対するリハビリテーション施設として、高い水準のサービスを提供している	A	A

《評価指標》 S：適正であり、優れた実績をあげている。  
A：適正である。  
B：概ね適正であるが、一部改善を期待する。  
C：改善が必要である。